



○インターネット **はらまち九条の会** 検索 で、本会活動や会報をご覧ください。

九条はらまち

福島県「はらまち九条の会」会報 **No.282**
2016(平成28)年5月5日(木)発行

＜「憲政の神様」尾崎行雄氏・平和運動家相馬雪香さん・そしてハナミズキのこと＞

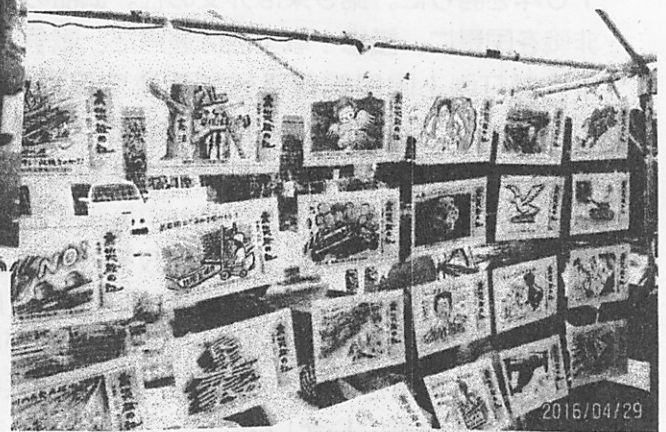
○桜の次は「ハナミズキ」が春を楽しませてくれますが、こんな有名なお話があります。○明治45年、東京市長の尾崎行雄氏が桜6千本をアメリカに送り、それがワシントン・ポトマック河畔の桜となります。その返礼にいただいたのが「ハナミズキ」で、今では日本全国に広まり愛されています。○その「憲政の神様」尾崎氏の三女雪香さんは、旧相馬中村藩主第32代相馬恵胤(やすたね)氏に嫁ぎ、難民を助ける会や地雷撲滅運動など平和運動に尽力されました。○大震災や原発事故に翻弄されている相双地方ですが、誇りと励ましを与えてくれるお話です。

4月29日(金)旭公園「はらまち春の市民まつり」で「9条」をアピール

○4月29日(金)昭和の日、原町区の旭公園で恒例の“はらまち春の市民まつり”が開催され、本会も昨年に引き続き参加。「憲法9条」や「平和」を市民にアピールしました。○本会のブースは、昨年は賑わう入口付近でしたが、今年は一番奥まったところで、またテントも吹き飛ばされそうな強い風で条件も良くなかったのですが、訪ねてくれる人も多く、「安保関連法廃止署名」に153筆が集まりました。○ご来場、ご支援やご協力に感謝申し上げます。



▼『福島民報』連載中の「震災絵日記」を拡大して約30枚を展示。たくさんの方が見入っていました。作者は画家朝倉悠三さん(会員)です。



▲お手伝いの会員さんや事務局員で、楽しく説明したり、子どもさんにはお菓子をプレゼント。「安保関連法廃止」の署名もたくさん集めることができました。強風のためテントのポールを必死で押さえたり、何度も書類が吹き飛ばされて大騒ぎしたり…。一日お疲れさまでした。

○会員さんからの、平和メッセージや絵手紙などの「ハガキ」も拡大し約20枚を展示しました。
○脱原発のカンパッチとシールのプレゼント、本会の『憲法』小冊子・「カンパッチ」(本会のシールをそのままカンパッチに作製したもので、さわやかな色彩で好評です)の販売、『会報集録②』の頒布。残部も少なくなっています。

○**カンパ・7,011円**が寄せられました。ありがとうございます。御礼申し上げます。

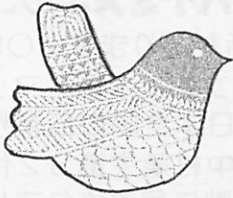


■これらの資料はラミネート製にしてあり、貸出し出来ます。事務局にお申し出下さい。

<「はらまち春の市民まつり」会員さんからのハガキより>

「市民まつり」のために会員さんから20枚のハガキが届き、拡大してブースで展示しました。
お忙しいところ、ありがとうございました。(原文を尊重しましたが、一部省略などお許しください)

- ◆ 南相馬のみなさん、私たちは原発事故被災地復興の支援を続けます。原発ゼロの自然再生電力確保を支持します。○「憲法九条に掲げた戦争放棄は、我が国を他国の侵略より救う最も確かな近道です」これは現憲法制定に尽力した、時の首相幣原喜重郎氏の言葉です。○憲法を暮らしに活かす努力をしないで、米国のために海外で戦争できる国作りを目指す安倍内閣の憲法改悪に強く反対します。○私たちは今の憲法に誇りを持っています。



(東京都北多摩東退職教職員九条の会)

- ◆ 戦争で泣くのはいつも庶民、女性、子供です。短歌三首 1. 広島原爆記念日 式典に総理の言葉心にひびかず 2. 「コクミンヲマモル」と言ひて守らざりし時代のありき七十余年前 3. ふるさとの墓地は核災 葬儀終へし母の遺骨の行き処なし (いわき市 吉田信雄さん)
- 第9条は絶対守らねばなりません。安保法制の廃案に声を上げましょう。(原町区 K. Hさん)
- ◆ 見るべし 聞くべし 言うべし 沈黙は罪！(子どもの本・九条の会、児童文学作家 丘 修三さん)
- ◆ 夏の参院選は憲法改正が論議の争点。与党が議席を大きく確保すれば改憲へ一気に突き進みます。それを阻止するためには、安倍政権を絶対打倒しなければならない。(郡山市 屋中茂夫さん)
- 東京電力の震災より早くも5年、夢の様に過ぎ去ってしまいました。大東亜戦争を経験致して来た者として、戦争は大反対です。世界中の国の皆さんと平和な日々を過ごされん事を願ふのみです。事務局の皆さんの御苦勞感謝致します。96歳。(原町区 羽根田ヨシさん)
- ◆ 守るべきは国家という怪物ではなく、人のいのち。戦争をしなかった70年を誇りに。第9条は外交の柱。武器の生産と輸出をやめて、永世非戦を国是に、護憲！戦争法は違憲だ、戦争法廃案！軍備廃棄！安倍戦争内閣打倒！国民総背番号特定秘密保護法反対 (原町区 Kさん)
- ◆ みなさん、自衛隊制服組が権限移譲を要求し背広組は拒否と、『東京新聞』2月22日付に掲載。制服組が自衛隊出動の最高文書起案権をわが手に収めようとしていて、だれが自衛隊を動かすかにかかっているかと思ひます。文民統制の聖域、防衛政策の決定は文民である防衛庁長官、防衛大臣であり、制服組の幕僚監部であってはならない。いろいろな内容は特定秘密保護法に指定され、国民はうかがい知ることではできない。そうってから異議をととなえても遅すぎる。徴兵制度になつてはならない。安保法制を廃案にしましょう。ガンバロウ。(原町区)
- ◆ 長年の憲法解釈を変更し集団的自衛権の行使を可能にする安保法が施行された。安倍政権は憲法を踏みにじり、国民にまともな説明のないままで、民主主義とはかけ離れた暴挙である。(原町区 Mさん)
- 地球のアチコチでテロや戦争が次々起きている今、日本の役割は誇れる「9条」をタテに全世界平和を指し示していくべきです。テロ、戦争は武力(安保法)では押さえられないのですから。(原町区 60代女性)
- 4月14日の『東京新聞』は一面で東京湾セシウム汚染を報じる。(川崎市Sさん パンジーの絵手紙▲)
- ◆ 「芸人9条の会」をつくりました。戦争になると真っ先に僕らが仕事を失います。戦争になると「真面目にやれ」「ふざけるな」と云うのです。僕らが「真面目に」やったら面白くないでしょう？平和でないと皆が歌って踊って笑えないのです。「憲法9条を守ろう！」(西東京市 コメディアン・松元ヒロさん)
- 9条は世界の宝 うたごえは平和の力 お花は平和の天使 みんな平和でこそ輝く (宮城県 Hさん)

2016. 3. 19の午後、日比谷野外音楽堂はこのようなフラカードを持った人々で埋めつくされました。



☆ 格差社会を拡大した安倍政権。
☆ 株価の乱高下は何を意味するのでしょうか？
☆ 結局は、庶民が泣くことに繋がるのです。

(▲九条の会玉川学園・町田市 勝田洋子さん)

